

安芸高田市 羽佐竹大規模農業団地へキャベツ定植

【平成30年4月27日掲載】

イオンアグリ創造（株）は、安芸高田市高宮町の羽佐竹大規模農業団地で、4月6日までに春作キャベツ0.8haの定植を終えました。品種は「おきな」が中心で、6月中旬から収穫期を迎える見込みです。

同社は平成28年秋作からキャベツ栽培を開始しました。当所では関係機関と単収確保に向けた改善方法について協議した結果、マルチ栽培の導入による早めのほ場準備と定植などが有効であるとの結論に至りました。平成29年の秋作で提案し、同社も実践に移したため、最終的に目標である5t近くの単収を確保できました。

県では、大規模農業団地の整備と生産技術向上のための支援を一体的に推進することにより、キャベツの栽培面積、生産量の増加に取り組んでいます。

羽佐竹大規模農業団地は整備が続いており、今年秋作からは新たな担い手が農業経営を始める予定です。

当所では、土壌改良に向けた技術支援や計画に基づいた早めのほ場準備、病害虫防除などの適期管理支援を継続していきます。



定植したキャベツほ場



定植10日経過し活着したキャベツ苗